

防災教育実施企画書

作成：

1. 授業テーマ

“助けられる側から助ける側へ” 中学生にできること

2. 学習者

●●● 中学校 全校生徒（講義）

同 1年生（演習）

3. テーマの選択理由

東日本大震災では、防災教育に継続的に取り組んだ中学校の生徒が地域防災の担い手となった事例があった。同校では知識を身につける防災教育に加え、学校・家庭・地域で助け合うボランティア育成プログラムを導入していた。これにより、生徒が“助けられる側から助ける側になれる”自覚が芽生え、災害時の適切な避難行動や被災後の活動につながった。これを受けて、本時でのテーマとして選択する。

4. 学習目標

本時では知的技能（例示された内容を理解し、自分自身に適用する能力）を学習成果と設定し、生徒に下記の2点を学習目標として示す。

- ・災害時に中学生（自分）にできる（できそうな）ことを、その理由も含めて述べることができる。
- ・災害時を想定した問題を見て、状況を読み取り、自分なりの判断を示すことができる。

5. 前提条件

- ・東日本大震災の主な被害要因を説明できる（津波）
- ・自分の意思で、決定をすることができる（意思決定や発表が困難な生徒については一定の支援が必要）